

(資料2)



藤野町内会連合会における

消費電力量見える化機器を活用した

節電の取組について

2014年3月18日(火)

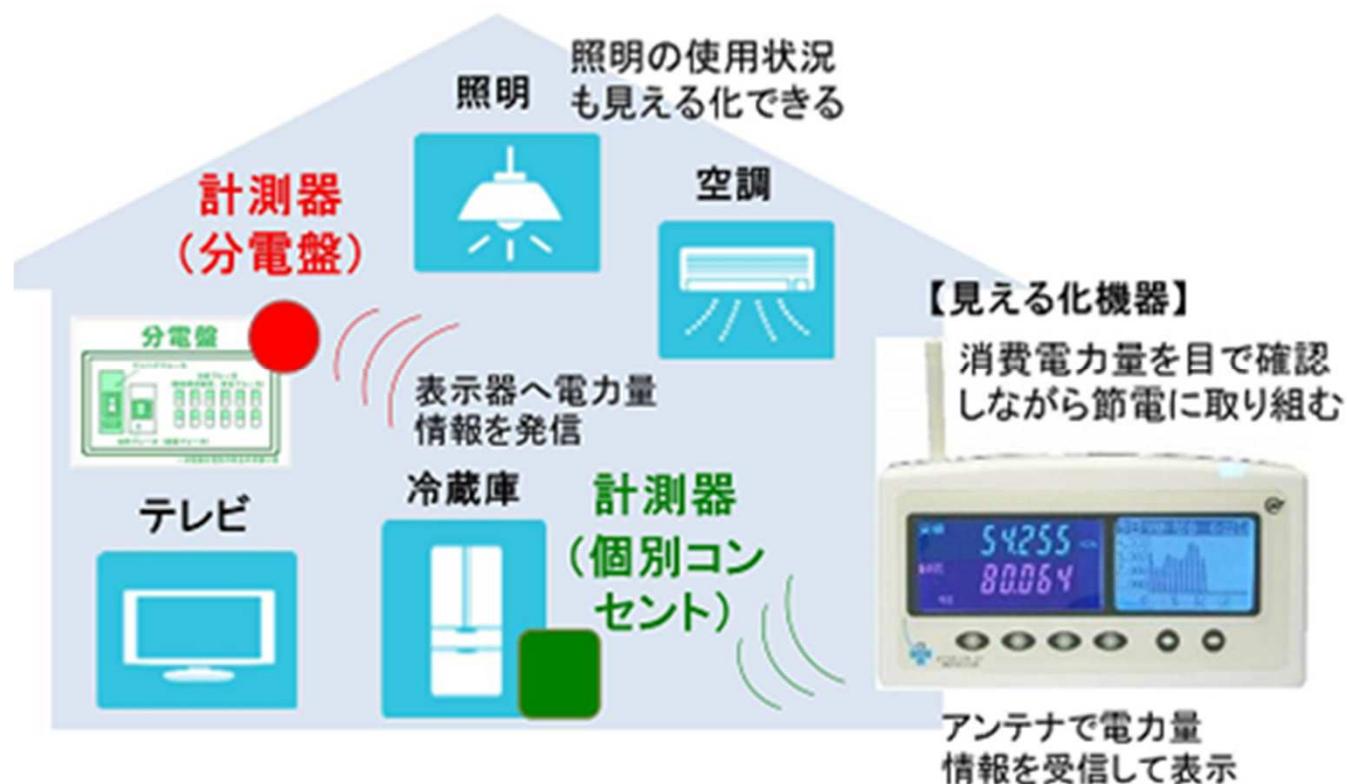
第9次札幌市環境保全協議会

小田 勝義 委員

消費電力量見える化機器とは

- 家庭の分電盤にセンサーを取り付けることで、家庭全体の消費電力量を即時に確認できる機器です。
- 家電製品に個別センサーを取り付ければ、その家電製品単体の消費電力量も確認できます。
- 電気の使用状況を把握し、節電の取組効果も実感することができます。

見える化機器の活用イメージ



消費電力量見える化機器の使い方①

① 省エネランプによる目標達成状況の確認

ランプが青色



設定した目標を達成中！
引き続き節電しましょう！

ランプが赤色



電気を使い過ぎです！
使用中の家電製品を
チェックしましょう！



省エネランプ

グラフ表示部

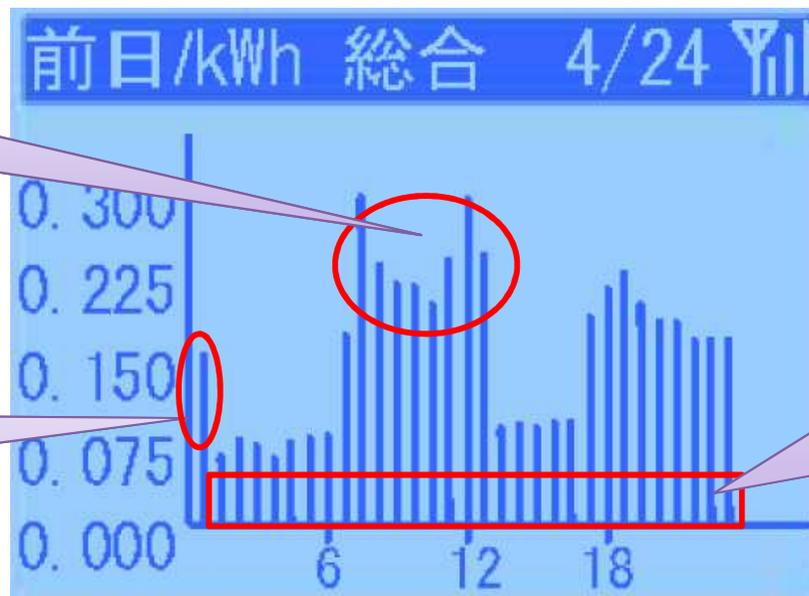
消費電力量見える化機器の使い方②

② 1日の消費電力量の変動を確認する

- ご家庭の1日の消費電力量の変動を、グラフ化して確認することができます。
- 消費電力量の変動を踏まえたより効果的な節電の取組へと発展させることができます。

日中テレビを見過ぎた？

夜更かししたから？

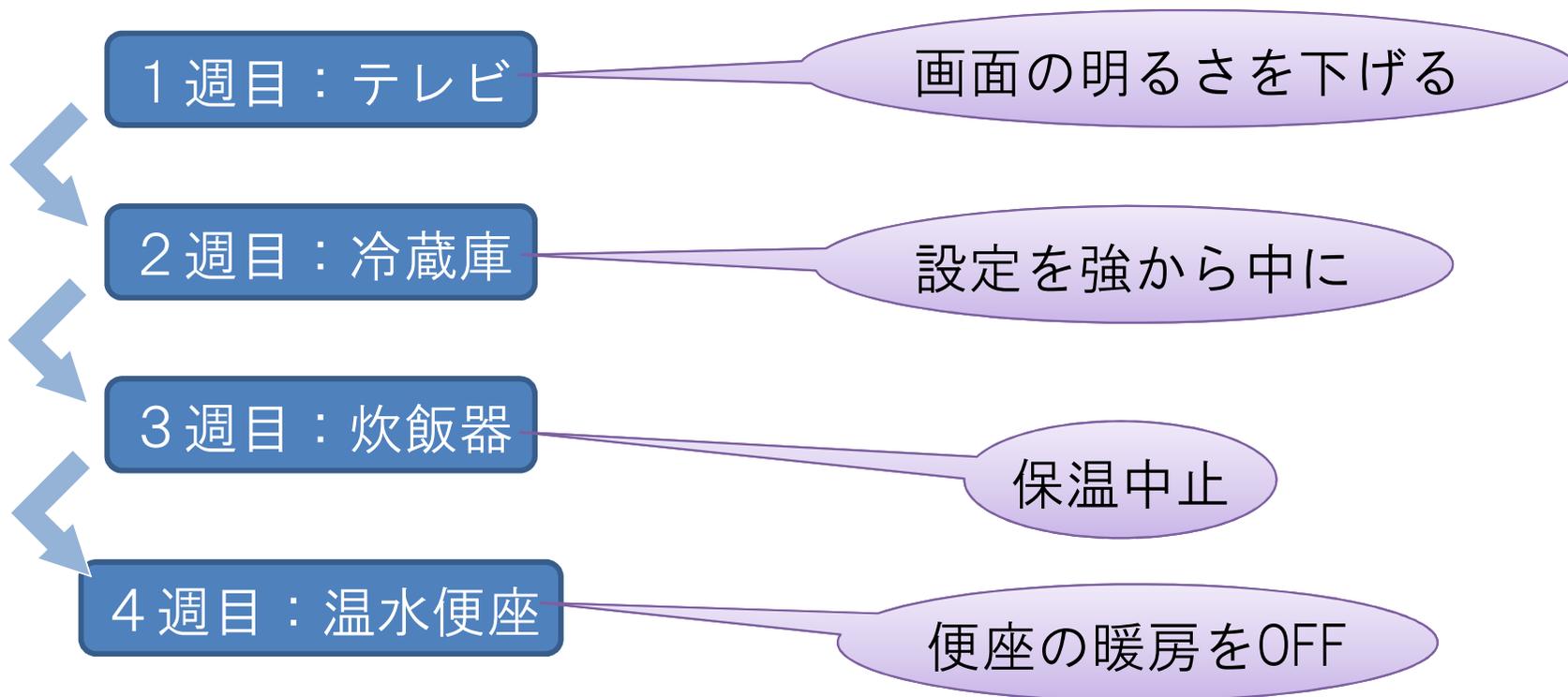


冷蔵庫などの常時動いている機器の設定を変えれば…

消費電力量見える化機器の使い方③

③ 個別の消費電力量を確認する

- 個別センサーを使用することで、機器ごとの消費電力量や全体に占める割合など、より詳しく電気の使用状況を把握することもできます。
- センサーを付け替えれば、色々な機器の消費電力量を把握できます。



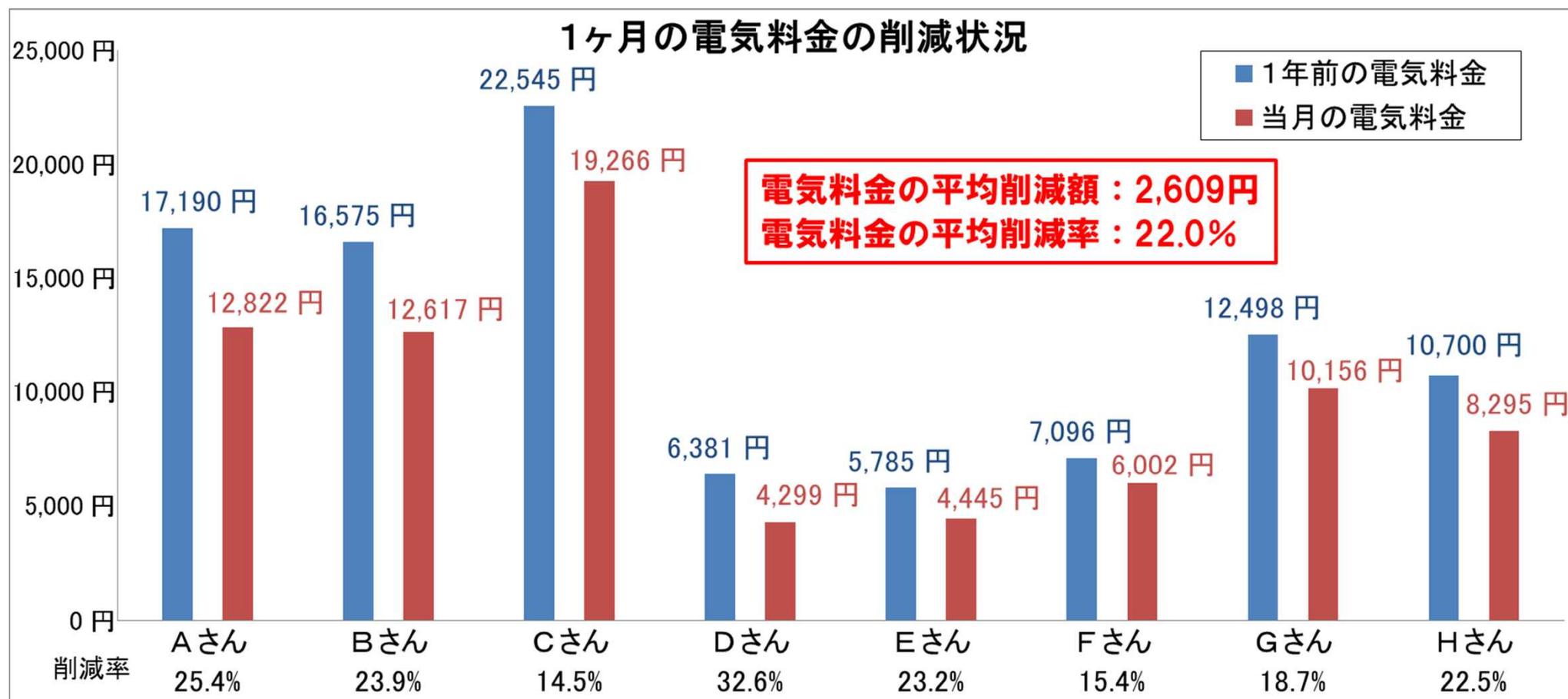
見える化機器を活用した節電取組の概要

- 藤野町連役員 8 名の方に、家庭の消費電力量見える化機器を活用して、節電を意識しながら約 1 ヶ月間生活してもらう。



- 電気料金と消費電力量について、前年の同月と比較して、どの程度削減できたかを確認する。
(見える化機器の返却後に最初に届く「電気ご使用料のお知らせ」によって把握する。)
- 見える化機器を活用した取組について、アンケートも回答してもらう。

見える化機器を活用した節電取組の結果



- 取り組んだ人、全員が1年前と比較して大きく電気料金を削減できた。
- 年間に換算すると3万円程度の削減となり、継続的な取組によって非常に大きな効果が得られることが分かった。

見える化機器に関するアンケート結果

質問	回答
Q. 見える化機器をどの程度の頻度で確認したか	A. 1日に何度も：4人、1日に1回程度：4人
Q. 見える化機器の設置前後で節電の意識は変わったか	A. 以前より強く意識：3人、以前より多少意識：5人
Q. 家族の協力は得られたか	A. よく協力してくれた：1人 ある程度協力してくれた：4人 あまり協力を得られなかった：1人 など
Q. 特に実践した節電の取組は（複数回答可）	A. 未使用の部屋の明かりを消す：5人 テレビ時間短く：4人 温水洗浄便座の設定変更：4人 テレビ主電源オフ：4人 など
Q. 継続的に利用するか	A. 常時利用したい：1人 利用した方が取り組みやすい：4人 今後は必要ない：2人 など
《自由意見》	
<ul style="list-style-type: none">参加できてよかった。多くの市民に勧めてもらいたい。電力だけでなく、他のエネルギーについても節約意識が高まった。節電について、強い意識を持つようになり大変良かった。意外と見える化機器のデータを注視し、神経を使うものと感じた。	

今後の展開（予定）

対象

町内会連合会の役員



町内会組織全体

取組

消費電力量見える化機器の貸し出し事業
⇒節電行動の普及啓発

+

家庭の省エネ診断事業
⇒各家庭のライフスタイルや
機器・設備に合わせた省エネの取組推進

事業スキーム

見える化機器の貸出し
(5～10世帯ずつ)

チェックリスト、検針票、
アンケートなどの回収

省エネ診断の受診
(5～10世帯ずつ)

事後調査アンケートに
よる取組の振り返り

随時、広報誌や
ホームページなどを
活用した周知を実施

結果報告を兼ねた
省エネ診断員による
節電講習会